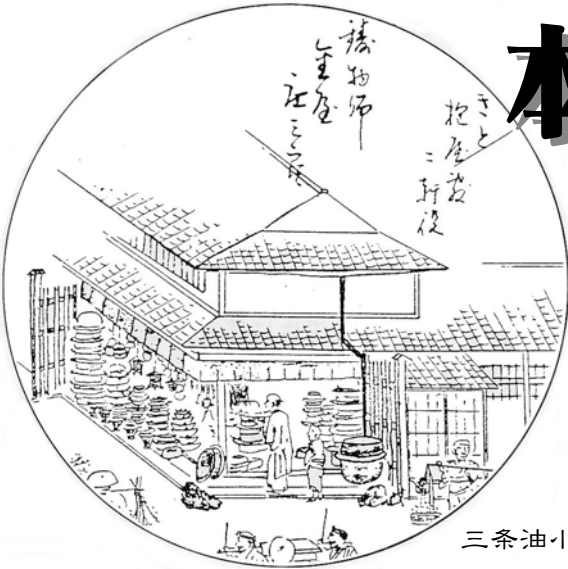


本能まちづくりニュース

第25号 平成16年12月25日発行

本能まちづくり委員会
委員長 西嶋直和

E-mail: post@honnoh.net
URL http://www.honnoh.net



三条油小路町絵図より鑄物師釜屋庄三郎方

京のまん中 秋は“まちなかを歩く日”

今年で5回目となった『まちなかを歩く日』。京都まちなかの魅力を存分に堪能できるこのイベントは、南北が四条通～二条通、東西が鴨川～堀川通のエリアで、11月13日(土)・14日(日)の2日間開催されました。

本能学区では四条京町家(四条通西洞院東入る北側)を拠点に、公開工房ツアー、実演コーナー、体験コーナー(家紋入り携帯ストラップとミニうちわ製作)、マイキモノプロデュースと盛りだくさんの内容で、多くの方々にお越しいただき、にぎわいのある2日間でした。

じっくり味わう匠の技

～おいでやす染めのまち本能～

黒いハッピー姿のガイドが工房を案内する「おいでやす染めのまち本能・公開工房ツアー」、今回の受付場所は四条京町家です。公開していただいた工房は10軒、京町家で実演していただいた3軒と合わせて13軒の匠の技の披露となりました。

参加者は2日間で107名(男36名、女71名)にのぼり、ガイド役のボランティアスタッフも大忙し。参加者の中には以前も工房ツアーに来られたことのある、いわゆるリピーターの方もおられました。本能学区の公開工房ツアーが、春と秋の行事としてすっかり定着しているようです(春は伝統産業の日です)。参加者のうち、京都市内の居住者が66名、市外が41名と、京都市以外からの方も多く、名古屋や東京からの方もいらっしゃいました。『京都きものパスポート』やホームペ

ージ、チラシをご覧になり、ツアーに参加されたとのことです。

四条京町家では、ツアーの受付を済ませた後、奥の座敷の実演コーナーで見学、人数(3～8名)が集まったところで、案内人とともに出発。4～5軒の工房を歩いて回るツアーの所要時間は2～3時間。寒さも手伝い、結構ハードなツアーですが、参加された方々は「匠の技にとっても感動しました」「職人さんから丁寧な説明を聞くことができてよかったです」「京都ならではの貴重な体験です」と大変満足のご様子でした。

ご協力いただいた工房の皆さま、ガイド役の皆さま、本当にありがとうございました。

来年には、元本能小学校跡地に完成する新しい施設で「おいでやす染めのまち本能」を開催することができるでしょう。どうぞお越しください。

(YN)



「おいでやす 染めのまち 本能」 まずはここから

写真で見る おいでやす 染めのまち 本能



中には荒木泰博氏の作品、濃紫地ほかし光線にカトリアの訪問着展示。本年6月第12回ファッションカンタータ from KYOTO に出展されたものです。(本紙23号にて紹介)



絵師 高岡由充氏：今回は黒生地に、じかに金で草花を描かれるのを見せていただきました。



片岡刺繍：図柄に細かい刺繍をされます。留袖の幕の柄。網を刺繍されると盛り上がり立って立体感ができ、絆の重みが出てきました。

四条京町家では



岡田商店：京野菜に美しい細工が施されています。活きの良さそうな鯉、実は薩摩芋なんです。

マイキモノプロデュース



2階ではマイキモノプロデュース。様々な白生地を前に、ゆっくりと説明を聞いたり、いろいろ相談したり。

公開工房ガイドツアー



そぞろ歩きで工房めぐり。

TV撮影



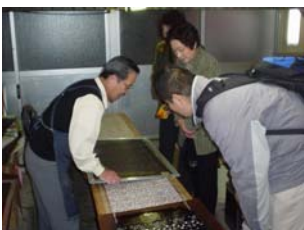
「普段では聞けない職人さんの話が聞けて、楽しかったです。」このお二人をテレビでご覧になりましたか？13日に5時間近く朝日放送の取材を受けました。11月29日TV6「きらっと」PM7:54から3分間に編集されて放映。



馬場染工：黒染めの工房。柳水町の名のごとくここには「柳の水」(地下水)が湧き出ています。



勝山引染：生地を刷毛で染めていく工房。ほかし染めなど。



中東染工：型染めの工房。



荒木金彩：着物に金を置く工程。

匠の技



村田紋縫：縫いで仕上げる紋。



松本金彩：熟練の技とトーク。



京都紋章工芸協同組合の協力による、家紋入り携帯ストラップ・ミニうちわ製作体験。二日間で90名近くの参加で、会場は熱気であふれていました。本能会議室にて



上木友禪：下絵に色を挿していく工程。



福本糊置：白生地に入色を入れる前に下絵に糊を置いて色が染まらないようにする工程。



鹿島紋章：紋を描く工房。

本能まちづくりニュースのカラー版は、ホームページでご覧ください。

<http://www.honnoh.net>

撮影 橋東詰町長尾氏
解説 (あ) N村



「自分好みの着物ができる!？」

着物の作り方について、素人の私にもわかりやすく丁寧に教えていただきありがとうございました。デパートや呉服屋さんの高価な着物のイメージしかなかったので、自分の好みで着物を作るなんて思ってもみませんでした。5万円くらいで染帯ができるなら、ぜひ私だけのオリジナルを作りたいと思います。

工房を拝見することで、着物への理解がより深まり、親近感も増しました。職人の方々の、お仕事にける情熱、着物にける思いを直接お伺いし、感銘を受けました。何人も何人もの手や心を経た着物というものが、たまらなく愛おしく、大切に思えました。

本当に素晴らしい企画をありがとうございました。

着物業界および本能学区のますますのご発展をお祈り申し上げます。(30代・女性)

“おいでやす染のまち本能”に参加して

蟠螂山町 (アパガーデンスクエア四条烏丸在住) 鈴木忠

私は今年1月に、この京都に引越して来ました。

当初、町の事をより早く、詳しく知ろうと思っていた折の3月に、本能公開工房があり、見学させて頂き、今までに見たことのない、雅やかさをそなえた伝統的な技能と技巧に強い衝撃を受け、深く感銘を受けたことを記憶しています。

此度、公開工房へのお手伝いの募集がありましたので、真っ先に申し込みました。

一人でも多くの方々に「匠の技」を理解して頂き、本能の町を知って頂きますよう、「歩いて暮らせるまちづくり」に微力ながら協力させて頂きたく思っております。

探訪 柳水のお茶席「PIANO ペトロフと共に」



「まちなかを歩く日」のイベントは各地域同時進行です。地元の学区行事に携わっているとなかなか他所の様子を見ることができません。しかし今回は、2日目の14日に暇をもらって、お隣り明倫学区のお茶席によせてもらいました。

今年の会場は京都芸術センターの、大広間ではなく2階講堂。舞台では、竹中社中による四季の日本古謡等の琴演奏。講堂左手に、大正中期、明倫小学校に寄贈されたピアノ・ペトロフと振袖で演奏する夫人を描いた日本画(中村大二郎作)の複製。右手に、大西清右衛門美術館の御釜をしつらえたお茶席。講堂後ろ半分の周囲には、池坊生け花を

学ぶ高倉小学校6年生の作品展示。そして、北側窓辺に白い輪と新町通りの写真をモチーフにしたアートプロジェクト『倫』が飾られていました。

講堂に入った瞬間、お花畑かと思うほど。子供達が自分で焼いた花器に、可愛い花が生けられ、同じ花材でも一つ一つ表情が違い「世界でたったひとつの花」達に迎えられたようでした。赤い毛氈が掛けられた床机に腰掛け、邦楽の調べにひたりながら、明倫学区在住の男性によるお点前で美味しいお茶と、色づく“もみじ”の金団を、ゆったりといただきました。「柳水のお茶席」と名付けられるからには、お水とお抹茶はもちろん本能産です。元明倫小学校から生まれ変わった芸術センターで、新旧が融合したハイカラな和風を味わったひとときでした。(N村)

本能まちづくり委員会の
次回開催は

平成17年1月17日(月)午後7時から
場所 本能会議室 当日飛び入り歓迎!!

「もしも、地震が起これたら・・・」

11月28日、直下型地震を想定して、中京区総合防災訓練が行われました。

朝8時半、参加住民は本能公園に集合。まず、中京消防署と本能消防分団の方々の指導で、普段は防災機材格納庫に収納されている折畳式担架とリヤカーの組み立て方法や、消火器の扱い方などを学びました。
 ☆各町内のどこに消火器があるかを知っておくこと
 ☆初期消火が大切 ☆消火器は、火元に近い位置で、消火剤が火元に届くように使用すること ☆火事は、すぐ、大声で家族、隣り近所に知らせること ☆担架など重たい物を持ち上げる時は必ず腰を下ろし、背筋を伸ばして立ち上がることを、等のアドバイスを受けました。

次に、本能学区自防防災会の標旗(学区ごとに色が違います。本能は臙脂色)を掲げて、高倉小学校まで、集団避難。☆避難所などではお互い知り合い同士であるほうが過ごしやすいです。☆自主防災部(町内を単位とする呼称です)代表者は、町内



標旗を掲げて集団移動

の人々の安否を把握し、各人は単独行動を取らずに各部ごとにまとまって動くように、ということです。



仮設トイレの設置訓練

高倉小学校に着くと、火の粉を防ぐ水の煙幕が張られており、本番さながらと緊張しました。校庭では、城巽・本能・明倫・日彰・生祥・立誠の6学区が集まり、代表者による避難所運営会議・救護・給水・給食・仮設トイレの設置等の訓練が行われました。配給され

た非常食は、アルファ米(炊き上げて乾燥させた米)に調味された具を混ぜ、熱湯をかけて30分ほど蒸らしてできるかやく御飯。10年以上前に体験した無洗米を簡易コンロで炊く御飯よりはるかに食べやすくなっていました。

11時、校庭を出て、一時避難場所の本能公園に再び集団で戻り、訓練を終了しました。

来年には本能学区の自主防災訓練が実施される予定です。皆さん是非に参り下さい。(N村)

写真提供：中京消防署消防指令補 瀬口俊文氏

紅葉の宝ヶ池「歩こう会&バーベキュー」

12月5日日曜日、前夜の雨で「中止か」と思っていたら、お天気も持ち直し、本能体育振興会主催「第4回歩こう会&バーベキュー」が実施されました。約50名の参加者が、朝8時半に本能公園へ集合し出発しました。

予定では地下鉄で北山まで出て、松ヶ崎の「妙法」の二山を縦断、そして宝ヶ池へというルートでしたが、前夜の雨で山道がぬかるんでいるため、松ヶ崎大黒天から「法」の山へ登りました。それぞれの調子に合わせて登り、火床のてっぺんまで行ったグループもあります。頂上からは、雨上がりで空気が澄んでいたせいか、はるか天王山を望み、さらに大阪の京橋ツインタワーまでも見えました。

河原でのバーベキューでは、たくさんのお肉や野菜、焼きいもなどなどお腹いっぱいいただきました。皆で

わいわいと囲むのでおいしさはひとしおでした。11月28日の防災訓練でも登場した「非常時に水を注いでできるご飯50人前パック」の五目御飯もいただきました。お湯でつくったので、ほかほかでした。



いっぱいのもみじと子どもたちが作った、焼き板プレート

子どもたちも宝ヶ池のトランポリンで遊んだり、焼き板でプレートを作ったりと、歩くこと・食べる以外にもいろいろ楽しく過ごせたようです。

今年の暖かい気候ゆえ、各場所にてまだ色鮮やかな紅葉を眺めることができました。心洗われる美しい景色を楽しんだ一日でした。(あ)

自治連合会からのお知らせ

◇2005年1月1日 新年を迎え、恒例の互礼会を、仮設会議室にて午前10時～11時に行います。学区民の方々のご参加をお待ちしております。

◇2005年1月10日 午前9時30分から本能学区成人式を行います。例年通り、新成人の方々を学区でお祝いいたします。成人を迎えられ、参加ご希望の方は、自治連合会長岡山(TEL221-6608)までご一報下さい。

編集後記

◎あまり寒くないのでうかうかしてたら、気がつけば師走。秋は文化・運動、様々な楽しい行事が続きました。勉学の秋はどこに。(あ)

◎11月28日の防災訓練のすぐ後に、直下型震度3。備えあれば憂いなし、ということですが、ドキッとしました。N村

◎2004年、痛ましい事件が起こると「家族」「地域」がクローズアップされました。来年のキーワードは「地域力」?(YN)

◎戸締り用心火の用心! 防犯の最初の一步は戸締りから。明るい新年をお迎えください。MO

本能まちづくりニュース25号編集：本能まちづくり委員会広報部